

地域の様子



1. 地域の特色

JR市川駅と本八幡駅のほぼ中間で江戸川沿いの北側に位置している。

旧水田の埋め立て地区で、戦後の新興住宅地であり、工場地域としても急速に発展してきた地域である。外環道路が学区の北東側に建設され、道路用地に伴う住宅移転が見られた。

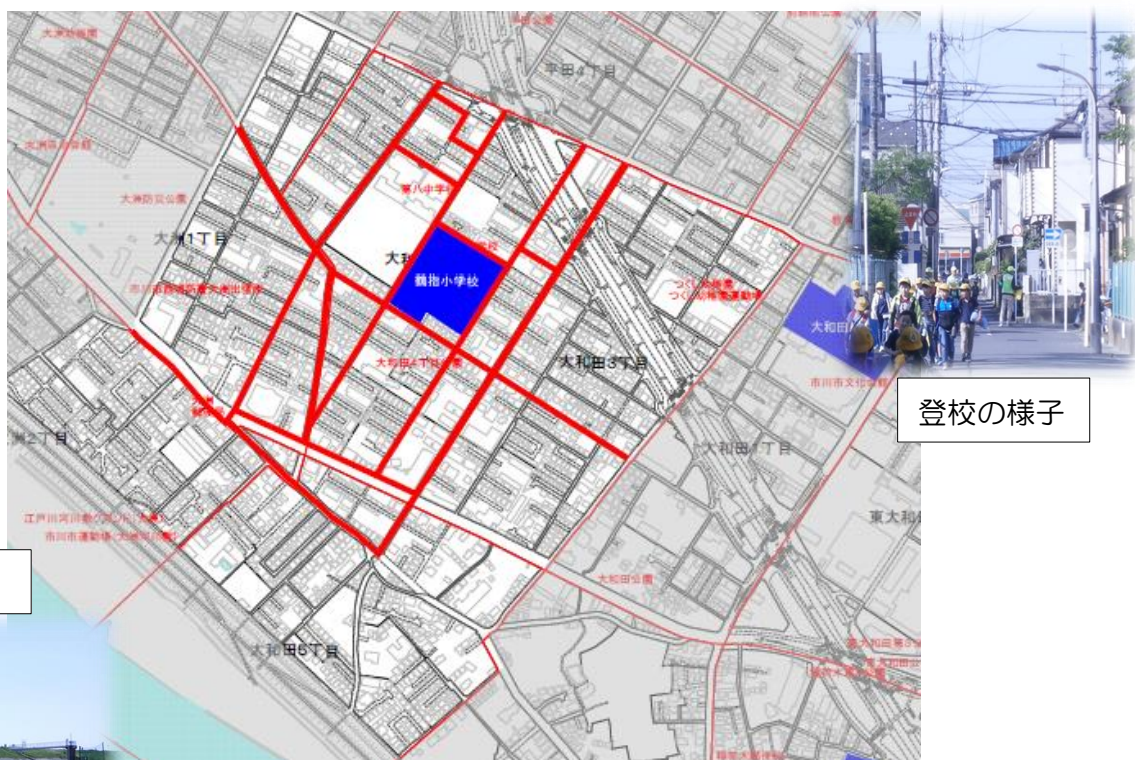
通学路には、見通しは良いが幅が狭かったり交通量が多かったりと、交通事故が心配される場所がある。そのため、地域の方々が「見守り隊」を結成し、児童の通学時間帯に合わせて交通安全指導をしたり、保護者の方々が計画的に旗当番を行ったりするなど、地域全体で温かく子どもたちの安全を守っている。

2. 学区及び通学路

下図のとおり、本校は学区のほぼ中心に位置している。近隣校として、東側に大和田小学校、西側に大洲小学校、北側に平田小学校、そして第八中学校が隣接している。

学区の南西部には江戸川が流れ、毎年春になると、河川敷まで全校遠足で訪れている。また、校舎よりスカイツリーや富士山を望むことができる。

通学路は、赤線で示した部分である。県道若宮西船市川線（大和田5丁目～大洲2丁目）は、外環道路の開通で交通量は減ったものの、継続して注意が必要である。それ以外の場所は、時間帯等の通行規制が敷かれており、比較的交通量は少ない。



登校の様子

江戸川河川敷



令和元年度現在